

《研究課題名》

縦隔腫瘍に対する外科治療（特に選択術式）についての検討

《研究対象者》

2001年1月1日から2023年12月31日の期間中に滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科で縦隔腫瘍に対して外科治療を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2026年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 外科学講座（呼吸器外科） 花岡 淳

(2) 研究の意義、目的について

《意義》

本研究により、縦隔腫瘍に対する鏡視下手術の適切な手術方法や、その適応の拡大に関する知見が得られると期待されます。これにより、縦隔腫瘍の治療における手術選択肢がよりの確になり、患者の治療成績向上に貢献することが期待されます。

《目的》

当科では2000年以降、徐々に縦隔腫瘍に対する鏡視下手術を導入し、その適応を拡大してきました。本研究では、これまでの縦隔腫瘍手術の経験から、手術対象、アプローチ、切除範囲などの周術期成績や予後予測などを後方視的に評価し、選択した手術方法の妥当性を検証します。

(3) 研究の方法について

《研究の内容》

2001年1月1日から2023年12月31日の期間中に滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科で縦隔腫瘍に対して外科治療が施行された症例を対象とします。症例の臨床背景（年齢、性別、BMI、PSおよび併存疾患）、術前検査所見（画像検査、採血結果）、周術期経過（手術時間、出血量、ドレーン留置期間、入院期間、合併症・死亡）、病理所見（WHO分類、正岡分類）、および、予後（生存率、死因）について電子カルテ情報を元として、選択術式および手術適応との間に関連があるかを後ろ向きに検証する。また、

悪性疾患と同時性に発生した縦隔腫瘍に対する術式については個々の症例毎に評価します。

《利用し、又は提供する情報の項目》

画像検査データ、採血検査データ、病理検査データ、診療記録。

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用のIDを付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたとIDを結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 外科学講座(呼吸器外科) 花岡 淳

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2244

メールアドレス：respsurg@belle.shiga-med.ac.jp